

1 教育行財政

1 - 1 教育委員会 教育長・委員



教 育 長
戸ヶ崎 勤



教育長職務代理者
仙波 憲一



委 員
木村 雅文

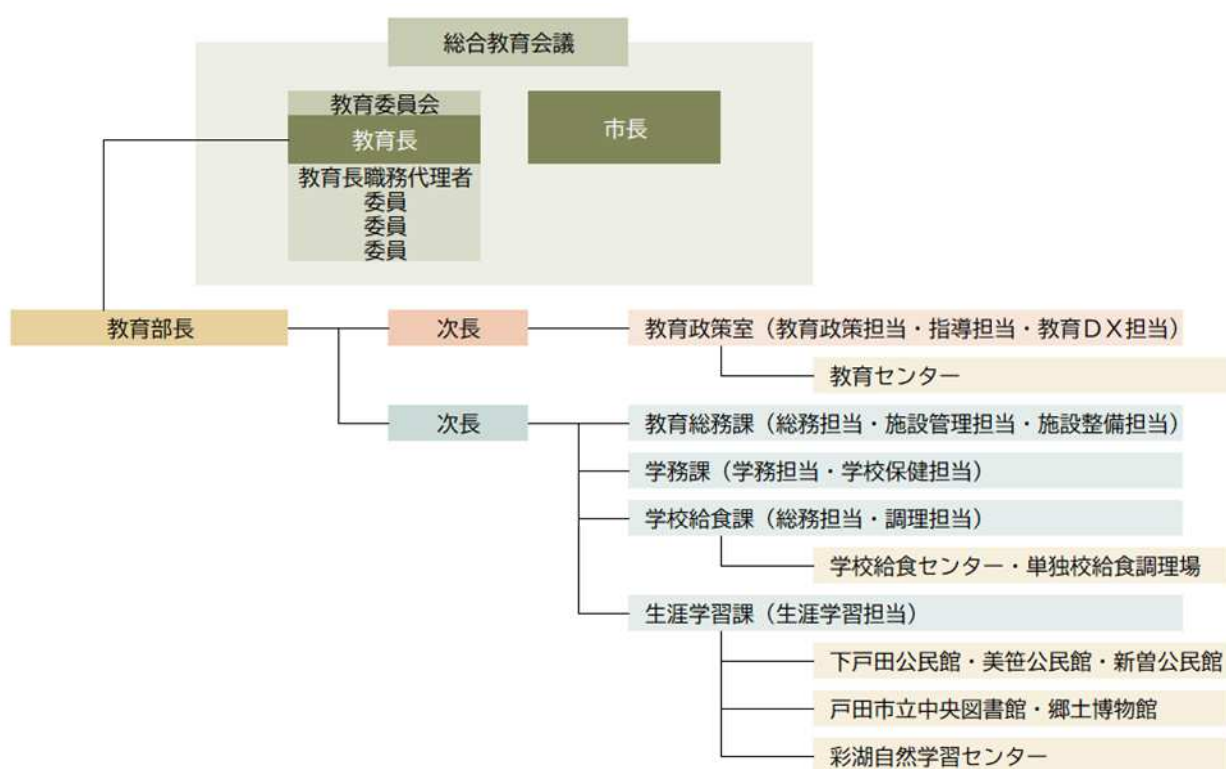


委 員
長道 修



委 員
浜田 美咲

1 - 2 教育委員会 行政組織図



1 - 3 教育委員会 事務分掌

所管課		主な事務分掌
教育委員会事務局	教育総務課	教育委員会会議、教育長秘書、教育委員会事務局総括、入学準備金・奨学資金貸付、未来へはばたく人財育成資金給付、海外留学奨学資金給与、小・中学校施設の備品・消耗品購入、各種工事・修繕、業務委託、事務機器賃貸借等に係る業務
	学務課	教職員等人事・服務管理、児童生徒の就学・転出入事務、通学区域・通学路、就学援助費・特別支援教育就学奨励費、教科用図書無償給与、学齢簿の編製・保管、児童生徒・教職員の健康管理、学校保健会・学校保健管理、学校教育関係の調査・統計、日本スポーツ振興センター等に係る業務
	教育政策室	学校訪問、研究委嘱、生徒指導、進路指導・キャリア教育、校外行事への指導、副読本の編集・活用、各種研修会、教育DX、情報教育、国際理解教育、教育相談、就学支援、特別支援教育、適応指導教室、発達支援、教育広報「とだ」の刊行、教育センター管理運営等、学校応援団、教育センター教科等研究グループ等に係る業務
	学校給食課	学校給食の計画、栄養管理、給食の調理及び配送、学校給食を活用した食育、給食センター及び単独校調理場の管理運営等に係る業務
	生涯学習課	生涯学習の推進、生涯学習関連講座・事業実施、社会教育・家庭教育講座、人権教育の推進、芦原小学校生涯学習施設管理運営、学校運営協議会、公民館事業等に係る業務 [図書館] 資料の貸出返却・閲覧、読書案内、調査研究支援、集会及び文化活動の企画開催、視聴覚教材等の貸出、資料の選択・収集・整理・修理等に係る業務 [郷土博物館] 資料の収集・保存・展示、調査研究、地域文書・文献の収集・整理・管理、市史等の頒布及び管理、彩湖自然学習センター及びアーカイブス・センターの運営管理、文化財の保護等に係る業務
市長部局	市長公室	総合教育会議に係る事務
	文化スポーツ課	スポーツの企画調整、体育施設設置・管理、体育施設使用許可・使用料徴収、学校開放、スポーツ関係団体に関すること、スポーツセンターに関すること、芸術及び文化活動の振興に関すること、文化会館に関すること等に係る業務
	こども・若者政策課	こども・若者支援の企画・調整、青少年健全育成、青少年団体、青少年問題協議会、成人式、児童センターに係る業務
	子育て支援課	学童保育室、放課後子ども教室の推進、こども医療費、児童手当等に係る業務
	保育幼稚園課	私立幼稚園関連補助金に係る業務

戸田市教育大綱

■はじめに

人づくりはまちづくりの礎であり、私は市長就任以来、常に教育に重点を置き市政を担ってまいりました。

全国的に急激な少子化が進む中、本市においても年々出生数が減少し、学校や地域コミュニティなど、こどもたちを取り巻く環境が大きく変わりつつあります。「戸田市で子育てがしたい、戸田市で成長していきたい」、多くの人たちにそう思っていたくためにも、社会の変化や世の中のニーズに的確に対応した教育施策の重要性を改めて深く認識しているところです。

社会情勢が複雑化し、不確実性が高まる中であっても、私たちは世界にしっかりと目を向け、こども一人ひとりの個性を大切にしながら、自己肯定感を育み、将来、国際社会においても主体的に活躍できる人材の育成を支えていく責務があります。また、AIをはじめとする技術が急速に進展する時代だからこそ、人間性や他者を思いやる心を大切に、どのような状況にあっても自ら考え、困難を乗り越えていく力を育むことが、これまで以上に求められています。

この時代の変化は、課題だけでなく未来への大きな可能性も示しています。技術の進歩により、いつでも、どこでも、誰とでもつながることができる社会が実現し、こどもたちの将来の選択肢は、自らの意志と行動によって大きく広げることができる時代となりました。さらに、令和5年4月に施行された「こども基本法」により、全てのこどもや若者が将来にわたって幸福に暮らせる社会の実現に向け、社会全体でこどもたちを支え、後押ししていく機運が一層高まっています。

一方、人生100年時代を迎え、世代を問わず誰もが文化・芸術・スポーツなどの活動を通じて自己を磨き、生涯にわたって学ぶ喜びを分かち合える、自己実現の機会と活気に満ちた地域社会づくりが求められています。

前大綱策定から5年が経過し、こうした時代の潮流や社会状況を踏まえ、このたび戸田市では、教育大綱を改訂いたしました。教育現場において質の高い教育が着実に実践されること、そして、その基盤となる環境を行政が責任をもって整備すること—この二つが相互に連携し、効果的に機能するための指針として、本大綱が重要な役割を果たすものと考えております。

新たな大綱では、前大綱の基本的な考え方を踏襲しつつ、こどもたちの意見も踏まえ、基本方針として『共に「はぐくみ まもり むすぶ」教育のまち 戸田』を掲げ、3つの柱に基づく6つの重点目標を定めました。

■基本方針の実現に向けて

この戸田市教育大綱は、市政運営の最も基本となる計画である「戸田市第5次総合振興計画」の将来都市像「『このまちで良かった』みんな輝く 未来共創のまち とだ」及び、基本目標Ⅰ「こどもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち」基本目標Ⅱ「創造性や豊かな心を育むまち」を受けたものとなっています。

また、このたび策定した「第5次戸田市教育振興計画」では、これまで数多くの成果を上げてきた本市の教育改革を踏まえ、「好きを育み 得意を伸ばす とだの教育」の教育理念のもと未知なる教育改革に挑むことで、「自らの人生を舵取りすることができる、民主的で持続可能な社会の創り手」を育成することを目指し、先進的な取組を推進することとしています。

今後は、多様性と包摂の視点のもとで「誰一人取り残されない」社会の実現とESD（持続可能な開発のための教育）に取り組むことを通じて、とだっ子と全ての市民一人ひとりの人生が輝きに満ちあふれたものとなるよう、市全体でこの大綱に取り組みます。

そして、市長部局と教育委員会が認識を共有しながら、引き続き、学校・家庭・地域が相互に連携してあゆみ、教育日本一を目指してまいります。

戸田市長 菅原文仁

『共に「はぐくみ まもり むすぶ」教育のまち 戸田』

3つの柱・6つの重点目標

柱①

育む(はぐくむ)～supporting growth～
「こどもの成長をはぐくむ」

■深い学びを活かし自ら未来を切り拓く力を育みます

戸田型 PBL をはじめとする課題解決型の学習や STEAM 教育の基盤づくり、先進技術の活用などを通じて、グローバル化が進む社会で求められる資質・能力を主体的に学べる環境を作ります。

■ふるさと戸田を愛し社会に貢献する心を育みます

体験的な学びや、読書を通じて、戸田市の伝統や文化、自然に触れる機会を大切にするとともに、社会生活を営むうえで必要な礼儀、道徳など公共の精神を育み社会に貢献する心を育てます。

柱②

守る(まもり)～protecting opportunities～
「誰もが学ぶ機会をまもり」

■多様性を尊重し誰もが教育を受ける機会を守ります

こどもの意見反映の機会を広げ、戸田型インクルーシブ教育モデルや戸田型オルタナティブ・プランの推進、いじめ対策の充実、相談支援体制の確保により、誰一人取り残されことなく安心して学習できる機会を保障します。

■安全・安心を確保し成長を後押しできる活気ある教育環境を守ります

学校の安全対策を徹底するとともに、教育施設の計画的な整備、スポーツ・文化芸術活動の推進を通じた生涯学習機会の充実を図り、こどもから大人まですべての世代の学びたい気持ちに応える環境を整えます。

柱③

結ぶ(むすぶ)～connecting schools and communities～
「学校と地域・社会をむすぶ」

■誕生から中学校卒業まで子育て支援と教育体制を切れ目なく結びます

こどもの発達段階に応じた適切なサポート環境を整えるとともに、幼保小連携や放課後児童対策の実施、小中一貫教育の推進など、子育て支援と教育体制とのシームレスな接続に取り組みます。

■教育の現場と地域の多様な主体を双方向で結びます

コミュニティ・スクールの活性化や産学官連携の取組の推進など、地域の多様な主体を双方向で繋ぎ、学びの舞台を広げることで新たな教育環境の創出やこどもの居場所の充実を図ります。



※計画期間：
令和8年度～令和12年度

グローバル化、情報化に加え、生成AI等の技術革新が社会を大きく変革し、予測困難な速さと広がりですべての時代への移行が進みつつあります。環境問題の深刻化や価値観の多様化といった新たな課題も複合的に現れ、社会全体の構造転換が求められています。まさに、変化が激しく、不確定で複雑かつ曖昧な「VUCA（※2）」の時代に私たちは生きています。このような時代において、「自らの人生を舵取りすることができる、民主的で持続可能な社会の創り手」を育成することが、教育に求められています。

好きを育み 得意を伸ばす とだの教育

本市は、『教育のまち　とだ』として、一人一人の「好き（興味・関心）を育み、得意を伸ばす」ことを教育の起点とし、未知なる教育改革に挑むことで、「自らの人生を舵取りを尊重し、民主的に持続可能な社会の創り手」を育成することを目指します。そのためには、誰一人取り残されることなく、誰もが互いの多様性を尊重し、いざいさと共に高め合う学びを実現することにも、子供も大人も、家庭や地域で学び、活動し、支え合うまちを築いていくことが重要です。さらに、計画の推進に当たっては、施策全体を支える様々な基盤の整備・充実を図り、各施策の実効性を高めることも欠かせません。このような基本的な考え方の下、本計画では方針や主な施策を定め、こどももみんなが社会の実現も見据えて先進的な取組を推進します。

学校教育において、未知なる教育改革に挑み、「自らの人生を解取することができ、**持続可能な社会の創り手**」を育成する学びの実現を目指します。

そのために、「これからの社会で求められる資質・能力を育成する学びの推進」「令和の日本型学校教育（※）」を支える学校の働き方改革の加速と、教師の指導力の向上」「持続可能で快適な学習環境と、切れ目のない成長を支える体制の整備」「子供の健やかな成長の支援」といった主な施策に取り組みます。

◎これからの社会で求められる資質・能力を育成する学びを推進します。

- ・各教科等の本質にせまる「主体的、対話的に深い学び」とカリキュラム・マネジメント（※4）の推進
- ・「個別最適な学び」と協働的な学びの一体的充実（※5）の推進
- ・世界で活躍できる人間の育成に向けた英語教育の充実及び短期留学プログラムの推進
- ・戸田型PBL（※6）の深化やSTEAM教育（※7）の模範による授業改善を含めた、質の高い探究的な学びの推進
- ・デジタルリテリシーや社会性を含む、情報活用能力（※8）の視点を含めた、情報活用能力（※9）の向上
- ・豊かな人間性や社会性を育むための体的・実践的な学びの推進

- ◎「令和の日本型学校教育」を支える学校の働き方改革の加速と、教師の指導力の向上を図ります。
 - ・学校の指導運営体制の充実と学校・地域が一体となって取り組む働き方改革の加速化
 - ・各教科等の本質にせまる研修及び産官学と連携し最新の知見を取り入れた研修等の充実
 - ・ICTやテクノロジーを活用した指導力の向上
 - ・教職員による不祥事の根絶に向けた取組の推進

- ・安心・安全と新たな学びに対応した施設・設備の充実
- ・幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図る体制の構築と「幼小架け橋プログラム」の促進
- ・小中一貫教育の推進

◎子供の健やかな成長を支援します。

あらゆる学びにおいて、誰一人取り残されることなく、誰もが互いの多様性を尊重し、いきいきと共に高め合う学びの実現を目指します。

そのために、「多様なニーズに応じた学びの推進」「多様な支援体制の充実」といった主な施策に取り組めます。

◎ 多様なニーズに応じた字を推進します。

- ・戸田型インクルージブ教育モデル (※11) の推進
- ・戸田型オルタナティブ・プラン (※12) の推進
- ・市民などが意見を表明する機会を確保と意見の反映
- ・市民二一社会の要請に合わせた学習組合の提供
- ・いじめ防止対策の推進
- ・特別支援教育の充実
- ・放課後の学習支援や日・不語指導の推進
- ・国内外の姉妹・友好都市間との交流の促進

- ・就学相談体制の充実及び活用促進
- ・子供の健全育成を支援するための福祉機関等との連携強化

子ども、家庭や地域で学び、活動し、支え合うまちを築くことを目指します。

そのために、「スポーツや文化芸術活動を含めた生涯にわたる学びの推進と活用機会の拡充」「地域校連携による子供の学びと活動の支援」といった主な施策に取り組みます。

◎スポーツや文化芸術活動を含めた生涯にわたる学びの推進と活用機会の拡充を図ります。

- ・生涯学習活動の推進
- ・図書館、郷土博物館の充実と利用活用の促進
- ・スポーツや文化芸術活動の推進
- ・家庭教育の支援

- ・コミュニティ・スクール（※14）等の地域・学校連携によるつながりの促進
- ・部活動の地域展開（※15）・ゆるやかなつながりと学びを大切にしたいこどもの居場所の充実

施策全体を支える様々な基盤の整備・充実を図り、各施策の実効性を高めることを目指します。

◎科学的根拠に基づいた施策の展開を図ります。

- ・教育デジタルトランスフォーメーション（教育DX）を推進します。
- ・IoT やデジタル機器をはじめとした学習環境の整備
- ・教育総合データベース（※19）の整備と教育データの利活用の推進
- ・個人情報保護やコンプライアンス（法令遵守）の徹底

本計画をEPMの核となるものと位置づけ、データに基づいて実態を見直していくための手立てとなるような指標として、以下の指標を設定しています。

[illegible]

・戸田型インクルーシブ教育モデルの実施状況

- 主に方針3に関係するもの

- ・戸田型インクルージョン教育モデルの実施は、児童・他者との協働意識が育まれていく児童生徒の割合
- ・特別支援学校・通級指導教室に通う児童生徒の人数
- ・不登校児童生徒の割合
- ・次世代バリュー・サートサイトの開設数
- ・こども未来バリュー・コメントの意見数
- ・国内外の姉妹・友は都府との交流件数
- ・障害児に係る相談窓口の相談件数
- ・障害児相談支援科相談件数
- ・1歳から11歳児健診、3歳から4歳児健診の平均受診率
- ・子育て支援センター利用件数
- ・こども家庭相談センターにおける相談件数

・生涯学習活動を行っている市民の割合

- ・生涯学習活動を行っている市民の割合
 - ・市民大学受講者数
 - ・公民館講座受講者数
 - ・週1回以上スポーツを実施している市民の割合
 - ・文化祭・音楽祭・美術展覧会の出品者数・参加者数
 - 及び延賓者数
 - ・図書館読者数
 - ・郷土博物館来館者数（常設展示）
 - ・地域クラブに所属している生徒の割合
- 市内のこども達の居場所の数

本計画は教育基本法第17条の規定に基づいて策定する。戸田市における教育振興のための施策に関する基本的な計画で示し、個別施策の詳細については市ホームページ、個別施策のページに掲載する。本市の教育振興や方針等の大きな方向性を本計画で示し、個別施策の詳細については令和8年3月の定例教育委員会を経て、最終的に令和18年3月の定例教育委員会を経て決定された。本計画に掲載された施策は、関係団体からの意見募集、関係団体へのアンケート、策定委員会での議論及びパブリック・コメントを経て、最終的に決定された。

- ※ 1) 学 (Society 5.0)・情報空間 (情報空間) を高度に融合させたスマート社会 (超スマート社会) として、第4期大学技術振興基本計画において、重点的に推進するべきとされている。学 (Society 3.0)・情報空間 (情報空間) を高度に融合させたスマート社会 (超スマート社会) として、第4期大学技術振興基本計画において、重点的に推進するべきとされている。
- ※ 2) VUCA (Volatility (変動性)・Uncertainty (不確実性)・Ambiguity (曖昧性)・Complexity (複雑性)) の時代であり、先ず必要とされているのは、協働的な学習能力の獲得であり、協働的な学習能力の獲得を旨とする。VUCA (Volatility (変動性)・Uncertainty (不確実性)・Ambiguity (曖昧性)・Complexity (複雑性)) の時代であり、先ず必要とされているのは、協働的な学習能力の獲得であり、協働的な学習能力の獲得を旨とする。
- ※ 3) 多岐にわたる専門知識・技能・態度・能力を身に付け、自ら学び続ける能力 (自己学習能力) の獲得が求められる。協働的な学習能力の獲得を旨とする。多岐にわたる専門知識・技能・態度・能力を身に付け、自ら学び続ける能力 (自己学習能力) の獲得が求められる。協働的な学習能力の獲得を旨とする。
- ※ 4) カリキュラム・マネジメントとして、学校が主体的に、多岐にわたる専門知識・技能・態度・能力を身に付け、自ら学び続ける能力 (自己学習能力) の獲得を旨とする。カリキュラム・マネジメントとして、学校が主体的に、多岐にわたる専門知識・技能・態度・能力を身に付け、自ら学び続ける能力 (自己学習能力) の獲得を旨とする。
- ※ 5) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な推進。中心に一人一人の状況や個性に応じた学び、多岐にわたる専門知識・技能・態度・能力を身に付け、自ら学び続ける能力 (自己学習能力) の獲得を旨とする。個別最適な学びと協働的な学びの一体的な推進。中心に一人一人の状況や個性に応じた学び、多岐にわたる専門知識・技能・態度・能力を身に付け、自ら学び続ける能力 (自己学習能力) の獲得を旨とする。
- ※ 6) 三田型PBLとは、Project-Based Learning (プロジェクト型学習) の略称であり、プロジェクト (課題解決活動) を通じて、これからの社会で求められる資質・能力を育成する学習のこと。三田型PBLとは、Project-Based Learning (プロジェクト型学習) の略称であり、プロジェクト (課題解決活動) を通じて、これからの社会で求められる資質・能力を育成する学習のこと。

- (7) **STEAM教育**…STEAMとは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工芸)、Art/Arts(芸術/文化・生活・経済・法・政治・倫理等)、Mathematics(数学)の略称。STEAM教育とは、STEAMの各分野が横断的に関係する現代社会に必要な資質・能力の育成に向け、各教科を実社会の問題発見・解決に生かしていくための教科横断的な学習のこと。
- (8) **デジタルリテラシー**…情報活用能力の質的・量的向上を指し、情報及び情報技術の理解から位置づける活用を通して、自他の権利尊重など、社会生活に必要な資質・能力の育成に際し、情報活用能力の質的・量的向上を目指すこと。

- [illegible]

1 - 5 歳出予算内訳

(1) 令和8年度 教育費の歳出予算内訳(当初) (単位:千円)

科目	令和8年度	令和7年度	比較増減	増加率
教育総務費	1,193,638	1,247,869	54,231	4.3%
教育委員会費	4,336	4,334	2	0.0%
事務局費	578,078	654,659	76,581	11.7%
教育指導費	215,656	199,507	16,149	8.1%
保健費	67,607	66,923	684	1.0%
教育センター費	327,961	322,446	5,515	1.7%
小学校費	3,497,491	2,407,519	1,089,972	45.3%
学校管理費	1,466,693	1,415,400	51,293	3.6%
学校建設費	2,030,798	992,119	1,038,679	104.7%
中学校費	1,223,550	870,010	353,540	40.6%
学校管理費	715,510	771,276	55,766	7.2%
学校建設費	508,040	98,734	409,306	414.6%
社会教育費	677,296	663,519	13,777	2.1%
社会教育総務費	69,803	67,426	2,377	3.5%
公民館費	8,360	8,768	408	4.7%
青少年育成費	47,523	46,269	1,254	2.7%
文化財保護費	13,423	12,267	1,156	9.4%
図書館費	407,388	404,161	3,227	0.8%
郷土博物館費	82,014	83,282	1,268	1.5%
彩湖自然学習センター費	48,785	41,346	7,439	18.0%
体育費	516,337	529,046	12,709	2.4%
体育総務費	124,000	116,135	7,865	6.8%
スポーツ施設管理費	8,292	8,823	531	6.0%
スポーツセンター費	384,045	404,088	20,043	5.0%
学校給食費	1,716,006	1,726,119	10,113	0.6%
学校給食センター費	881,254	947,521	66,267	7.0%
単独校給食費	834,752	778,598	56,154	7.2%
教育諸費	47,172	49,011	1,839	3.8%
教育振興費	39,734	39,614	120	0.3%
人財育成奨学資金給付金	7,438	9,397	1,959	20.8%
教育費計	8,871,490	7,493,093	1,378,397	18.4%

(2) 令和8年度 1人あたりの教育費(当初・概算)(令和8年5月1日現在)

区分	人数(人)	予算額(千円)	1人あたりの額
教育総務費 (市民1人に対して)	143,215	1,193,638	8,335 円
小 学 校 費 (児童1人に対して)	7,416	3,497,491	471,614 円
需 用 費		385,496	51,982 円
備品購入費		55,884	7,536 円
中 学 校 費 (生徒1人に対して)	3,637	1,223,550	336,417 円
需 用 費		160,406	44,104 円
備品購入費		20,375	5,602 円
社会教育費 (市民1人に対して)	143,215	677,296	4,729 円
体 育 費 (市民1人に対して)	143,215	516,337	3,605 円

(3) 令和8年度 市全体の予算から見る教育費の割合(当初)

